

英語

I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領(平成29年3月)に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「本県教育が目指す人間像」の育成に資する内容、構成となっているか。
	(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。
	(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。
	(3) 主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。
教科 独自 観点	(4) 4技能5領域をバランスよく育成できるよう配慮され、かつ複数の技能を統合した活動を仕組むことができるよう工夫されているか。
	(5) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などが設定され、自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動を行うことができるよう配慮されているか。
	(6) 多様な文化や社会的な話題を取り扱い、自ら発信したいと思える題材を取り上げているか。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長	
共通 観点	(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。
	(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

II 選定資料利用上の留意点

- 1 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 2 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 3 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

Ⅲ 具体項目

英語

観点	発行者	東 書	開隆堂	三省堂
<p>1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) 人の教の教科の目的の特質に及び、「教育」の育成に資する内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> 世界の水問題や障害者スポーツを支える用具の開発などの題材において、英語を用いてコミュニケーションを図ることで、誰もが幸せに暮らすことのできる世界の実現を目指す態度を養うことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の人々の健康問題や海洋汚染問題などの現代的諸課題において、英語を用いてコミュニケーションを図り、発信する場面を設定することで、課題を自分のこととして捉え、解決しようとする態度を養うことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本各地の伝統文化や祭り、名物料理や観光名所などを題材にして、我が国の文化を英語を用いて発信する活動を設定することで、自国の文化を尊重し、世界に発信する態度を養うことができるよう配慮されている。
	<p>(2) 学ぶるに自然と長崎の歴史・文化を深めたり</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2年の世界遺産を取り上げた題材では、本県が認定を受けた世界文化遺産を関連付けて取り扱うことができる。 3年の広島への原爆投下を取り上げた題材では、オバマ元大統領の非核化メッセージが載せられており、本県の平和運動を関連付けて取り扱うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年の海外の世界遺産を取り上げた題材では、本県が認定を受けた世界文化遺産を関連付けて取り扱うことができる。 2年の「原爆の子の像」を取り上げた題材や3年の「Faithful Elephants」では、本県の原爆に関する遺構や物語などを関連付けて取り扱うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年では長崎旅行の思い出が語られており、眼鏡橋や平和公園など多数の写真が掲載されている。 3年の「原爆ドーム」や「広島平和記念資料館」を取り上げた題材では、本県の原爆に関する遺構などを関連付けて取り扱うことができる。

Ⅲ 具体項目

英語

観点	発行者	教 出	光 村	啓林館
<p>1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) 像成、目的、育の育成に資する内容、構成人達の</p>	<p>・和食に携わる外国人から日本文化を学ぶ題材やVサインの文化の違いを知る題材において、英語を用いて発信する活動を設定することで、異文化理解を促し、それぞれの文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮されている。</p>	<p>・世界の貧困問題、教育問題、環境問題などの現代的諸課題について、英語を用いてコミュニケーションを図り、発信する場面を設定することで、課題を自分のことと捉え、解決しようとする態度を養うことができるよう配慮されている。</p>	<p>・日本や世界の歴史的な人物について、英語を用いてコミュニケーションを図り、発信する活動を設定することで、それぞれの文化を尊重し、世界に発信していこうとする態度を養うことができるよう配慮されている。</p>
	<p>(2) い学史、ふるか。生にせつるの題材が解・扱を深化やれめや歴</p>	<p>・2年では、参考資料として長崎を紹介する記事が龍踊の写真とともに掲載されている。</p> <p>・3年「この世界の片隅に」では、オバマ元大統領のメッセージが載せられており、本県の平和運動を関連付けて取り扱うことができる。</p>	<p>・2年の観光大使として情報発信する活動では、本県のような観光名所を関連して取り扱うことができる。</p> <p>・3年の広島への原爆投下を取り上げた題材には、ピースボランティアの手記が載せられており、本県の平和運動を関連付けて取り扱うことができる。</p>	<p>・3年では、地方創生の取組の紹介に、小値賀島の体験型観光についての記事が掲載されている。</p> <p>・3年の広島への原爆投下を取り上げた題材では、「語り部伝承プログラム」が載せられており、本県の平和運動を関連付けて取り扱うことができる。</p>

Ⅲ 具体項目

英語

観点	発行者	東 書	開隆堂	三省堂
<p>2</p> <p>学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「Enjoy Communication」 「story」 で学習内容の習得を図り、「Your Turn」 で表現する学習を設定することで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。 「Can Do リスト」において、できるようになったことを確認したり、今後の学習を見通したりする場を設けることで、基礎的・基本的な知識・技能を習得することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Scenes」 で学習内容を見通し、「Retell」 「Interact」 で振り返る学習を設定することで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。 「できるようになったことリスト」において、身に付けた力を確認したり、振り返ったりする場を設けることで、基礎的・基本的な知識・技能を習得することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「POINT」 で学習する基本文を明示し、「Drill」 でその基本文の繰り返し学習を設けることで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。 「What Can I Do?」において、できるようになったことを確認したり、振り返ったりする場を設けることで、基礎的・基本的な知識・技能を習得することができるよう工夫されている。
	<p>(2) 工夫を凝らすことができるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「Mini Activity」では、お互いに尋ね合うなどのペア活動を設定することで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。 「Unit Activity」では、自分の考えをまとめたり、述べたりする活動を設けることで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Interact」では、意見や考えをやりとりするペア活動を設定することで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。 「Share」では、自分の考えを述べたり、発表したりする活動を設けることで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Take Action!」では、実生活に即した場面でペアやグループによる表現活動を設定することで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。 「USE Speak」では、自分の考えを述べたり、他者の発表を聞いたりする活動を設けることで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。
	<p>(3) 主体的に学習に取り組むことができるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「Stage Activity」では、複数の学習内容を活用して、協働的に表現する場面を設定することで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 「Let's read」 や「Optional Reading」では、名作や時事的話題を扱うことで、発展的なリーディングに主体的に取り組むことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Our Project」では、既習内容を基に協働的に言語活動を行う場面を設定することで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 「Power-Up」では、学習内容を日常的な状況で活用する場を設定することで、主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Project」では、複数の学習内容を活用して、協働的に活動に取り組みさせることで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 「Get Plus」では、学習内容を日常的な状況で深める活動を設定することで、主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。

Ⅲ 具体項目

英語

観点	発行者	教 出	光 村	啓林館
<p>2</p> <p>学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) 基礎的・基本的な知識・技能を確実・工学的に習得しているかが、でき</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「Key Sentence」「Tool Kit」で学習内容の定着、「Think & Try」で活用を図る学習を設定することで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。 「Can-Do 自己チェックリスト」で、自ら学習の到達状況を確認する場を設けることで、基礎的・基本的な知識・技能を習得することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Listen and Read」「Listen」「Speak」「Write」と、習得から表現へ段階的に構成することで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。 「CAN-DO List」では、年間目標の確認や、自己評価をする場を設けることで、基礎的・基本的な知識・技能を習得することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Get Ready」で新出文法を含む基本文を提示し、「Practice」「Use」で実際に使用する活動を設けることで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。 「Can-Doリスト」では、できるようになったことを確認する場を設けることで、基礎的・基本的な知識・技能を習得することができるよう工夫されている。
	<p>(2) 知識・技能を解き、決断力・表現力等を活用して課題を解決することができよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「Think & Try!」では、比較的短い対話を繰り返し行う活動を設けることで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。 「Task」では、既習内容を基に自己表現活動を設定することで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Goal」では、単元で学んだことを活用して自分の考えを表現する活動を設けることで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。 「Story Retelling」では、物語の内容を自分の言葉で表現する活動を設けることで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Targetのまとめ」では、単元で学んだことをペアやグループで表現する活動を設けることで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。 2、3年「Express Yourself」では、自分の体験や考えを表現する活動を設けることで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。
	<p>(3) 主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「Project」では、既習内容を活用したプレゼンテーションを協働的に行う場を設けることで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 「Activities Plus」では、既習内容を用いながら話題を自由に選んで表現する活動を設定することで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「You Can Do It!」では、グループで意見交換や発表を行う場を設けることで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 「帯教材」で、学習の目標や発展的な学習へつながる課題を提示することで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Project」では、複数の学習内容を活用し、協働的にプレゼンテーションを行う場を設けることで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 「Further Study」では、ディスカッションや長文ライティングなどの発展的活動を設定することで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

英語

観点	発行者	東 書	開隆堂	三省堂
<p>2</p> <p>学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(4)</p> <p>かきしれく4 るた、育能 よか成5 動つで う複能 工を仕数 夫細のよ さむ技 れむ能 てこと いが統 るで合さ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各単元を「Preview」「Scene」「Story」「Mini Activity」「Read and Think」「Unit Activity」で構成することで、4技能5領域をバランスよく育成することができるよう配慮されている。 複数の単元後の「Stage Activity」では、技能統合的な活動を設定することで、学習で身に付いた力を確かめることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元を「とびら」「Scenes」「Think」「Retell」「Interact」で構成することで、4技能5領域をバランスよく育成することができるよう配慮されている。 複数の単元のまとめとして「Our Project」を設定することで、技能統合的な活動を系統的・発展的に指導できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元を「Get」「USE」「Take Action!」「Project」で構成することで、4技能5領域をバランスよく育成することができるよう配慮されている。 複数の領域にわたるタスクが盛り込まれた「USE」シリーズや複数の単元のまとめとして「Project」を設定することで、技能統合的な活動ができるよう工夫されている。
	<p>(5)</p> <p>慮をち定目 さ行なさ的 れうどれ、 てこを、場 いると伝自 か。がえ分、 で合の状 きう考況 る言えな よ語やど う活気が 配動持設う</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「Preview」で言語を使用する目的や場面、状況等を把握する場を設けることで、導入の意欲付けができるよう配慮されている。 「Mini Activity」「Unit Activity」「Stage Activity」と段階的構成とすることで、学びを積み重ねながら無理なく言語活動を行うことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「Scenes」では、漫画形式の短い対話の導入を示すことで、新出表現が使用されている目的や場面、状況等を理解することができるよう配慮されている。 「Interact」では、必然性のある場面を設定することで、英語を用いて自分の考えや気持ちを発信することができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の「とびら」と「Part」では、目的や場面、状況等を具体的に示すことで、学習を進める際の指針となるよう配慮されている。 「Take Action!Talk」では、実際の生活場面に即した比較的短い会話を設定することで、即興的なやり取りや言語活動に対応することができるよう配慮されている。
	<p>(6)</p> <p>るり多 題扱様 材い、文 を取自化 りら発 上信社 げて会的 いたな るか。思 え取</p>	<ul style="list-style-type: none"> SDGs、環境・エネルギー問題など、今日的課題を豊富に取り扱うことで、英語を学びながら多様な見方・考え方を育てることができるよう配慮されている。 「Let's」シリーズでは、実際の生活に即した場面を設定することで、必然性をもってコミュニケーション活動を行うことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 国内外の著名人、異文化理解、自然科学、SDGsなどの題材を取り扱うことで、視野を世界に広げ、豊かな感性を育てることができるよう配慮されている。 「Scenes」での漫画では、ユーモアあふれるストーリー展開を設定することで、学習者の興味・関心を高めながら活動につなげることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の文学作品、平和・人権、SDGs、などの題材を取り扱うことで、視野を世界に広げ、多角的な考え方を育てることができるよう配慮されている。 「Project」では、生徒が想像をふくらませるようなテーマやトピックを設定することで、自分の考えや気持ちを伝えることができるよう配慮されている。

Ⅲ 具体項目

英語

観点	発行者	教 出	光 村	啓林館
<p>2</p> <p>学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(4)</p> <p>と統さよ4 いが合れく技 るでし、育能 きたか成5 活つで領 よ動複き域 うを数るを 工仕のよバ 夫組技うラ さむ能配 れこを慮ス</p>	<ul style="list-style-type: none"> 単元を「Part」「Review」「Task」「Grammar」の流れで構成することで、4技能5領域をバランスよく育成することができるよう配慮されている。 複数の単元のまとめとして「Project」という活動を設定することで、学習した知識や表現を生かした技能統合的な活動ができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各Partでは、左ページで「聞く・読む」活動、右ページで「聞く・話す・書く」活動の構成とすることで、4技能5領域をバランスよく育成することができるよう配慮されている。 単元で学んだことを表現につなげる「Goal」や「You Can Do It!」という活動を設定することで、技能統合的な活動ができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 2、3年の単元では、「Part」「Read&Think」「Express Yourself」で構成することにより、4技能5領域をバランスよく育成することができるよう配慮されている。 各単元末の「Express Yourself」や複数の単元のまとめとして「Project」「Further Study」を設定することで、技能統合的な活動ができるよう工夫されている。
	<p>(5)</p> <p>るとをれの的コ か伝、やミ でえ自場ユ き合分面ニ るうの、ケ よ言考状 う語え況シ 配活やなヨ 慮動気どん さを持がを れ行ち設行 てうな定う いこどさ目</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各単元において、目的や場面、状況等に 応じた明確な目標を設定することで、学 習を進める際の指針となるよう配慮され ている。 「Think & Try」「Task」「Project」と 段階的な設定をすることで、生徒が無理 なく言語活動に取り組むことができるよ う配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元において、ストーリー仕立てで構 成することで、目的や場面、状況等を、 生徒が身近なこととして捉えることがで きるよう配慮されている。 「Let's Talk」では、3学年とも三つの 共通テーマを繰り返し設定することで、 言語活動を続ける力を育成することがで きるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の「扉」と「Get Ready」では、 具体的な目的や場面、状況等を設定す ることで、学習を進める際の指針となるよ う配慮されている。 「Express Yourself」では、ステップ1 から段階的に進む構成にすることで、自 分の考えや気持ちを無理なく伝えること ができるよう配慮されている。
	<p>(6)</p> <p>か。思取多 えり様 る扱な 題い文 材、化 を自や 取ら社 り発会的 上げし てた話 たい題 いと</p>	<ul style="list-style-type: none"> 世界的な課題を含む様々な題材を設定す ることで、持続可能な世界を目指してい くための幅広い視野を育むことができ るよう配慮されている。 身近な学校生活から社会的な話題といっ た発達段階に応じた題材を扱うことで、 学習意欲を高めながら学習することがで きるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「World Tour」や「Let's Read」では、 世界へ視野を広げる題材を取り扱うこと で、多様なものの見方・考え方を育むこ とができるよう配慮されている。 4人の中学生の3年間の生活を表したス トーリーを示すことで、登場人物に共感 しながら学習することができるよう配慮 されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の興味を引き付ける題材を取り扱う ことで、興味・関心を高めながら発信活 動につなげることができるよう配慮され ている。 「More Information」で多様な情報を掲 載することで、題材への興味・関心を高 めながら学習することができるよう配慮 されている。

Ⅲ 具体項目

英語

観点	発行者	東 書	開隆堂	三省堂
<p>3 らの 学習 効果 ・表現 や体 裁の 特長 見やすさ (ユニバーサルデザイン) 等の観点か</p>	<p>(1) か。述とや文章 ともすは、 なにく、 なにつ適 て切質分 いな・か る記量り</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文章量を段階的に増やすなど、生徒の発達段階に配慮した内容となっている。また、多岐にわたる話題を扱うことで、生徒の学習意欲を高めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 3学年を通して、質・量ともに適切な記述となっている。また、知的好奇心を喚起する題材を扱うことで、生徒の学習意欲を高めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の発達段階に応じた内容で、文章は質・量ともに適切である。また、自国の文化や異文化を扱うことで、生徒の学習意欲を高めることができるよう工夫されている。
	<p>(2) さ連とは写 れやも、真 て学に、学 習習、挿 効果学意 に内容欲 十分を 配高 慮め 関の となど</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の扉の写真を見ながら学習を展開できる構成とすることで、題材への興味を高めることができるよう配慮されている。 音声教材と動画を活用できる二次元コードを付すことで、学習意欲を高めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元のScenesにおいて、基本文をイラストで表現することで、学習意欲を高めることができるよう配慮されている。 音声教材と動画を活用できる二次元コードを付すことで、学習意欲を高めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元に、扉の写真を設けることで、学習の動機付けや学習の見通しをもつことができるよう配慮されている。 音声教材を活用できる二次元コードを付すことで、学習意欲を高めることができるよう配慮されている。
	<p>(3) るは紙のレ か。質、大 適き 切ア にウ 配イ 慮ン さ、 れ、 て、 い、</p>	<ul style="list-style-type: none"> A判を採用し、背景は白の発色度をおさえ目に優しいデザインになっている。 行間のスペースを確保したり、効果的に挿絵を使用したりすることで、読み進めやすくなるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> A B判を採用し、背景の白の発色度に合わせて、イラスト等が鮮明に描かれている。 全単元を見開きページで構成することで、授業で取り組むポイントや流れが分かりやすくなるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> A B判を採用し、背景は白の発色度をおさえデザインになっている。 挿絵を数多く使用することで、文字だけでは理解できない設定に答えることができるよう配慮されている。

Ⅲ 具体項目

英語

観点	発行者	教 出	光 村	啓林館
<p>3 の 表 記 ・ 表 現 や 使 い やす さ 、 見 やす さ (ユニ バー サル デザ イン) 等 の 観 点 から</p>	<p>(1) か。述とや文章は、 か。述とや文章は、 か。述とや文章は、 か。述とや文章は、</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文章量を段階的に増やすなど、生徒の発達段階に配慮した内容となっている。また、多様な文化や国際社会といった様々な題材を扱うことで、学習意欲を高めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年の単元数を揃えとともに、生徒にとって適切な文章量となっている。また、3学年を通して同じ登場人物によるストーリーを展開することで、生徒が理解しやすいよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の興味を引き出す内容で、質・量ともに無理のない文章となっている。また、日本や世界で今、起きている題材を扱うことで、学習意欲を高めることができるよう配慮されている。
	<p>(2) か。習学写、 か。習学写、 か。習学写、 か。習学写、</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の扉の写真に関する質問に答えることで、学習意欲を高めることができるよう配慮されている。 音声教材を活用できる二次元コードを付すことで、学習意欲を高めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の扉の挿絵や写真を見ることで、学ぶ内容の動機付けや学習の見通しができるよう配慮されている。 音声教材と動画を活用できる二次元コードを付すことで、学習意欲を高めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の扉の写真を見ることで、学ぶ内容の動機付けや学習の見通しができるよう配慮されている。 音声教材を活用できる二次元コードを付すことで、学習意欲を高めることができるよう配慮されている。
	<p>(3) か。紙のレイ か。紙のレイ か。紙のレイ か。紙のレイ</p>	<ul style="list-style-type: none"> A B判を採用し、背景の白の発色度に合わせてイラストのカラーが鮮明に見えるようにしている。 随所に活動の内容を挿絵で示すことにより、内容が理解しやすくなるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> A B判を採用し、背景は白の発色度をおさえた目に優しいデザインになっている。 帯教材を綴じ込みにすることで、毎時間、容易にページを開くことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> A B判を採用し、背景の白の発色度に合わせてイラストのカラーが鮮明に見えるようにしている。 すべての単元を同じレイアウトで構成することにより、学習に取り組みやすいよう配慮されている。